



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



農作物が大収穫の今秋も、団体会員の青空自主保育の親たちや、体験学習に訪れる中高生たちの若い力で、農作業はとんとと進み、湿地は蘇り、谷戸の景観と生態系が保たれています。

10/28 脱穀

お知らせ & 谷戸往来

鎌倉中央公園フェスティバル
第 2 弾(協働開催)
秋の谷戸まつり開催
11/25(日)10:00~14:00

場所：野外生活体験広場(荒天中止)
展示・紙芝居上演・頒布・体験コーナー
炊き出し(谷戸鍋・餅・ご飯)
引き換え券頒布開始 11時



お椀とお箸を
ご持参ください!

保育士研修 9/1(土)

鎌倉市内の公立保育園 5 園、私立保育園 1 園から保育士 10 人が参加して、身近な自然と親しむ保育について考え、保全作業として水路の草刈りをしました。★本当の意味で伝えたいこと、伝えなくてはいけないことは、今日のような作業を体験する中の方が分かるように思いました。実際の体験は意味が何倍もあると思いました。(深沢保育園 M.I)

深小ふれあい広場 10/27(土)

深沢小学校ふれあい広場に参加。PTA と協力して芋ごはんと芋づる炊き出しをして子ども達に味わってもらいました。

自然だより ～ 生態系から見た里山の手入れ 谷戸のカヤネズミ その1 ～

今年は稲刈りの際に、カヤネズミの巣が10以上も見つかり話題になっています。神奈川県でも激減している貴重な生きもので、鎌倉市内では山崎の谷戸と台峯緑地が最後の生息地になったかもしれません。

●カヤネズミとは 日本最小のネズミで、家屋に入ったり、田畑を荒らすことはありません。雑草の種などを食べます。ススキ、オギ、チガヤ、チカラシバ、イネ、ササなど、大型のイネ科植物の葉を縦に裂いて糸のようにし、器用に編んで丸い巣を作りその中で子育てをします。初夏～秋に何回も子育てをし、冬は地表近くで暮らしているようです。

●カヤぶき屋根のあった時代に 田畑と雑木林が里山のイメージですが、忘れてならないのがカヤ原（ススキの草原）です。カヤぶき屋根の材料や家畜の飼料を得る場として欠かせなかったのです。鎌倉では山の尾根に、カヤ原があり、毎年手入れをしていたようです。山崎の谷戸の周辺の山の尾根は、カヤ原だったそうです。カヤネズミもたくさんいたでしょう。谷戸のカヤネズミは最後の生き残りなのです。

●田んぼの周辺の草地を守る 現在、市内で大型のイネ科植物がまとまって生えている場所は、ほとんどありません。カヤネズミは冬も大型のイネ科植物の周辺で暮らしているのです。田んぼの周辺の湿地や草地が必要です。20年位前までは、毎年田んぼで巣が見つかりましたが、最近は田んぼで巣が見つからなくなっていました。カヤネズミの調査を続ける中で感じたのは、田んぼの周辺の湿地や草むらが、ツルにおおわれるなど荒れてきたころから、カヤネズミが減ったことです。そこで田んぼの近く（堆肥置き場の裏）のオギ原を数年かけて手入れをしました。生態系班以外にも、会員の紹介で「NPO 法人森びとプロジェクト」の人手を借り、はびこっていたフジヅルなどを除去した結果、数年でオギ原が元気になり、カヤネズミが巣を作るようになりました。その結果、昨年あたりから、再び田んぼの方にもカヤネズミの巣が見つかるようになったのです。今回は今までのカヤネズミ調査と保護活動から見てきたことを書きます。

体験学習

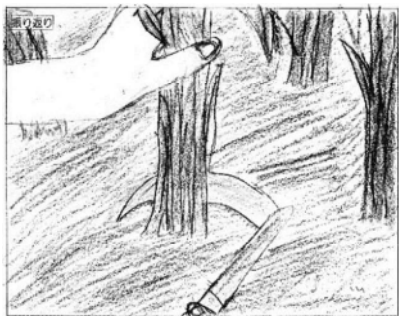
(富士塚小5・稲刈り)田の中はつめたくてめめめめしていました。稲刈りをするとき鎌で稲を刈った時のかんしよくがめっちゃよかったです。はさがけのとき稲がほどけなくてすごいなと思いました。

(小坂小3・谷戸しごと)根からめくのは、くきが細いセイタカアワダチソウはかんたんにもけたけど、太いととてもたいへんでした。さいしょ見たときよりもきれいになってうれしくなりました。それに歩きやすくなってよかったです。



(富士塚小5・稲刈り)

(教育支援教室ひだまり・さつまいも畑の草刈り)今日は、雑草を抜きました。初めて鎌を使いました。「固い草」や「切りやすい草」などがありました。草のかたまりを切って細かくしました。なぜかという、そのまま移動がしにくかったので、細かくして少しずつ持っていけるようにするからです。雨が降るたびに休憩所に戻り、止んだら畑で作業をしての繰り返しでした。とても楽しかったです。



(深沢小5・稲刈り)

(深沢小5・稲刈り)はさがけをした時、かわいている稲をさわってみたが、とてもカサカサで、かわかすところまでかわくのだと思った。みんなのかった稲を運ぶ時、予想以上に重くて少しおどろいた。次のだっこが楽しみになった。

体験学習の予定


深沢小5年 11/8、12/20
富士塚小5年 11/1、12/12
小坂小5年 11/5、1/21
教育支援教室ひだまり
11/6、12/4、1/15

各班のお知らせ


田んぼ班

10月初旬4日にわたった稲刈りは、延べ130人の参加者のおかげで予定通り終わることができました。運んだ大束はずっしりと重く豊作を感じさせます。谷戸まつりに間に合うように、精米までの作業を進めます。



 10/25 稲刈り



 10/22 さつまいも掘り

畑班

台風24号による塩害にも耐えた作物。谷戸まつりに間に合うように8月に蒔いた大根も無事に育っています。さつまいもの収穫が終わり、これから落花生、たのくろ豆、さといもの収穫が続きます。

雑木林管理班

雑木林の木々は、台風の塩害のために落葉が進み、晩秋のようになっています。強風による倒木も数本ありました。11月初めには、木々の状況を歩いて確認し、作業計画を作成します。

農芸班

収穫し、干してよく乾かしたたのくろ豆を足踏み脱穀機で殻出します。谷戸まつりでは光沢が美しい麦わら細工が並びます。手工芸品からも谷戸資源の豊かさを感じていただけます。


植物育成班

カナムグラの除去作業を引き続き行います。毎年続けているため少なくなっていますが、手を抜くと増えてくるので油断できません。野草の花の観察と作業をバランスよく取り入れ活動します。

自然遊び班

深くもぐった芋も協力しながら残さず掘り上げました。探検隊で落ち葉かきをしてできた堆肥をバケツで運んで畑に撒いて、次の準備のお手伝いもしました。



 カヤネズミの赤ちゃん

生態系保全班

冬鳥を観察するのによい季節です。モズなど去年と同じような場所で確認できるとほっとします。カヤネズミの巣の調査も行います。稲に多くの巣があったため、湿地などで何個見つかるか楽しみです。

11月

- 3日 (土・祝) 田 籾干し・はさ片付け
 4日 (日) 田 籾干し・溝切り・畔土寄せ
 雑 雑木林を歩いて調査 ♣
 7日 (水) 生 カヤネズミの調査
 畑 小麦の種蒔き ☆
 10日 (土) 田 籾すり・精米・わら切り
 11日 (日) 田 籾すり・精米・わら切り ♣
 畑 たのくろ豆の収穫・吊るし干し ♣
 雑 雑木林の除間伐
 自 父と子の里山体験「杉を伐採して、丸太と杉の花火をつくろう！」▶
 かまくらレンジャーズ
 青空自主保育にこにこ会保全活動
 18日 (日) 田 籾すり・精米・わら切り
 畑 さといも掘り・洞入れ
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 21日 (水) 植 かくれもみじ生育地の手入れ
 農 たのくろ豆殻だし・選別 ♣

25日 (日) 秋の谷戸まつり 10～14時

28日 (水) 畑 畑の整備

12月

- 2日 (日) 田 落ち葉かき ☆
 畑 大根の収穫・洗い・干し ♣
 畑 落ち葉かき ☆
 雑 雑木林の除間伐 ☆
 5日 (水) 生 カエル産卵場所の整備
 9日 (日) 田 落ち葉かき・苗床耕し・土ふるい ☆
 畑 落ち葉かき・土壌改善 ♣
 畑 やさいも ☆
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 自 里山探検隊
 12日 (水) 畑 落ち葉かき
 16日 (日) 会員親睦会 ☆
 田 籾殻くん炭 ♣
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 講座「正月飾り作り」 ☆
 19日 (水) 農 たくわん漬け ♣
 23日 (日) 田 籾殻くん炭・堆肥置き場整備
 雑 雑木林の除間伐
 生 冬の野鳥を探そう ♣
 青空自主保育やんちゃお保全活動

1月

- 6日 (日) 田 籾殻くん炭・堆肥切り返し
 雑 雑木林の調査・測定 ☆
 9日 (水) 畑 畑の整備
 畑 麦踏み ☆
 堆肥作り ☆
 13日 (日) 田 籾殻くん炭・堆肥切り返し ♣
 雑 竹の伐採 ☆
 自 里山探検隊

14日 (月・祝) 春の七草とどんど焼き

- 16日 (水) 植 オギ原の刈り込み作業
 20日 (日) 田 籾殻くん炭・堆肥撒き ☆
 畑 荒おこし
 雑 間伐材整理 ♣
 青空自主保育にこにこ会保全活動
 27日 (日) 田 籾殻くん炭・堆肥撒き ♣
 畑 じゃがいも畑の耕し ♣
 雑 園内整備
 生 アシ原の野鳥を探そう ♣
 講座「雑木林の観察」 ☆
 青空自主保育なかよし会保全活動

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験 (要予約)
 ▶ 4歳～ 会員以外の方 参加費 500円/組

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班 農：農芸班
 自：自然遊び班 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所
 内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時
 ホームページ：http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp
 Eメールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

